

エンジニアとしての成長をさらに高める

# 工学部の新しい学び

英語が苦手でも大丈夫!  
世界で活躍できるエンジニアへ

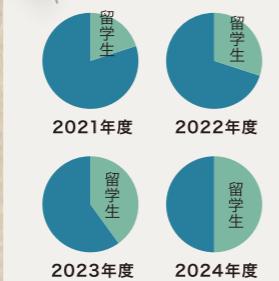
TOEIC® スコア  
**250点アップ**の英語プログラム

Berlitz®



世界70以上の国と地域でグローバル人材を育ててきた  
言語習得法を有するベルリツと提携。ネイティブ講師  
による英語オンライン授業や、豊富な指導実績に伴うイン  
プット・アウトプット方式などを駆使し、全員のTOEIC®  
スコア250点アップを目指します。

まさにグローバル!の国際的環境

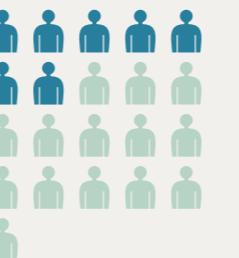


学ぶ仲間は**留学生!**

2020年度の第一期生は日本人のみですが、そ  
の後200人の定員のうち、次第に留学生比率  
がアップ。2024年度には200人中100人の新  
入生が留学生に。工学部の仲間の大半が海外  
出身。まさに「グローバルそのもの」の環境の  
中で高め合うことができます。

**1/3**が海外出身の教員!

工学部に携わる教員21人のうち、7人が海外出  
身の教員。イギリス、ドイツ、イタリア、トルコ、エ  
ジプト、パキスタン、中国…さまざまな視点、さま  
ざまな経験を教員から学ぶことができます。海  
外の大学出身というだけではなく、海外の企業  
にエンジニアとして勤めた経験を持つ教員も。



新校舎(工学部棟)完成で、実践や協働環境が充実

ラーニング・コモンズなどの場で  
**協働の力**をはぐくむ

工学部棟には、広々としたラーニング・コモンズがあり、  
どこに座るかは毎日自由。つまり、進行中のグループ  
ワークや課題に応じてまとまって座ることができます。  
入学後2年目からは、留学生の入学受入も開始。国籍の  
違いを超えてテーブルを囲み、さまざまな課題にチーム  
で取り組みます。



ラーニング・コモンズ。  
毎日、自分が座りたい席を自由に選ぶことができます。

個室の**学生寮** ×  
使いたいときに使える「工房」

校舎と隣接する学生寮には、一人ひとりの個室が設けられます。校舎内  
の4階には電気電子工房(通称「工房」)が、そして1階・地下には機械  
工作スペース(通称「工場」)が設けられ、学生はいつでも課題の試作  
や、ロボットコンテストなどに向けた創作に没頭できます。使用する部  
品もほとんどを無料にする予定で、ひらめいたときにすぐ試作、何度も  
試作可能。モノづくり好きにはたまらない環境で4年間を過ごすこ  
とができます。



工学部棟全景。各所に開放的なテラスも設置され、豊かなコミュニケーションや発想を育みます。



学生寮個室。一人ひとりに快適な環境が提供されます。

経済経営学部	経済学科／経営学科
人文学部	心理学科／歴史文化学科
バイオ環境学部	バイオサイエンス学科／バイオ環境デザイン学科／食農学科
健康医療学部	看護学科／言語聴覚学科／健康スポーツ学科
工学部	※2020年4月開設 機械電気システム工学科

経済学研究科
経営学研究科
人間文化研究科
バイオ環境研究科
工学研究科 ※2020年4月開設



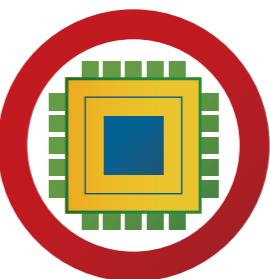
KUAS  
KYOTO UNIVERSITY OF ADVANCED SCIENCE

京都先端科学大学

2020年4月 開設

## 京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科

社会とつながる学びが、社会を動かす力になる



**KUAS**  
KYOTO UNIVERSITY OF ADVANCED SCIENCE  
京都先端科学大学

企業が、社会が  
研究対象

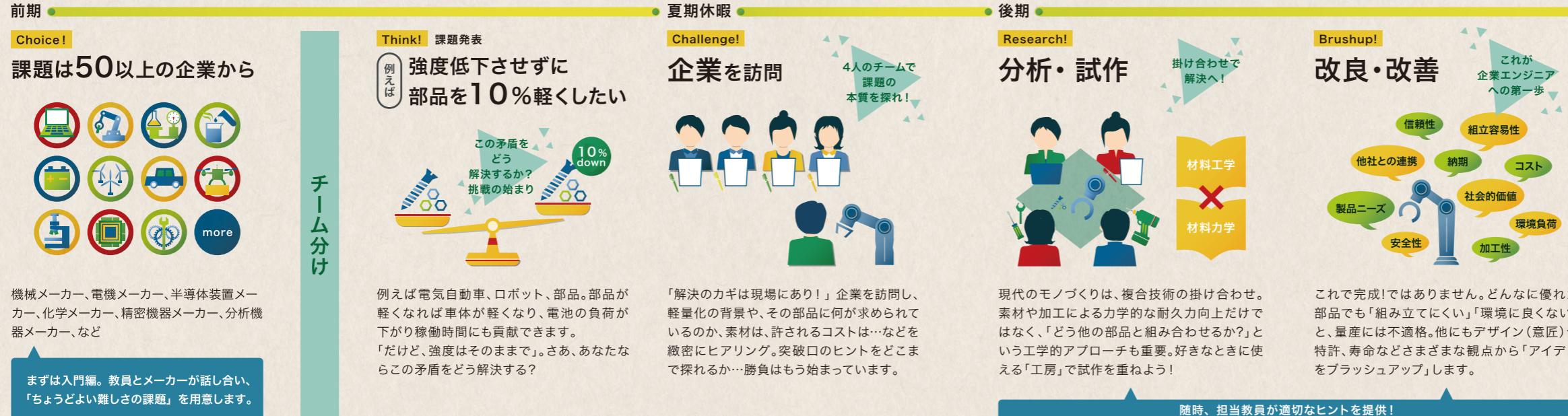
日本初！京都先端科学大学で即戦力を育てる

# キャップストーンプロジェクト

“キャップストーン”とは、ピラミッドの頂上に最後に載せる石のこと。工学部で取り組んだことの総仕上げとして、3年次と4年次に行います。これは、国内外の企業が抱えているグローバルなビジネス課題と向き合い、解決に近づくための方法を探るというもの。自分が学んでいることは、どんな社会課題にヒットするのか。これを知ることは、非常に重要なことです。企業の方々と協働しながらプロジェクトを進めていくリアルな体験は、究極のインターンシップとも言えるでしょう。



3年次～プレキャップストーン 4年次の本番前に、まずは入門編



4年次～キャップストーン いよいよ本番！企業エンジニアの実践へ



身につく  
成果

1 企業で即戦力となりうる  
技術職としての力を修得

2 提案先企業や審査員企業に  
成果が活用されることも！？

そして  
社会へ！

1 希望する企業への内定を  
獲得！

2 大学院へ進学。  
実践力と技術力をさらに高める

企業内で自分たちのアイデアを「実現」させるためには、あらゆる人の疑問や不安をすべて払拭し、「それいいね！」と思わせること。「学生だからここまで」なんて、ここでは無し。真剣勝負、だから面白い。Let's Try!

発表し、修正を加え、納品して長期間のプロジェクトは完了。自分たちの提案が実際に企業の製品に採用されることも夢ではありません。